

緑の風

JR東労組
NEWS

JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union

2024年12月25日 No.68

羽越本線列車脱線事故
から19年

中央本部・信越地本・本部運輸
車両部会では、12月25日に現
地に立ち、慰霊を行いました。

**「安全」が言葉だけになっている現実
に対して、職場から声を上げよう！**

12月25日、5名のお客さまが亡くなり、お客さま31名と乗務員2名が負傷した「羽越本線列車脱線事故」から19年を迎えました。私たちは「命」の重さを再認識し、二度と繰り返さないことを誓いましたが、一方で今のJR東日本の安全に関して、疑問の声が多く寄せられています。

特に、「安全は経営のトッププライオリティ」と言いつつも、経営幹部が新幹線の列車分離を「たまたま」と言ってしまうなど、安全を軽視していると言わざるを得ない状況です。職場では組織再編や統括センター化などの会社施策によって、教育訓練が不十分なままに不慣れな業務に従事する機会が増えたほか、「新たなジョブローテーション」によって、基礎や経験を深めないままに次の職場へ異動してしまう現実もあります。そして、「融合と連携」の名のもとに業務量増加と多能化が進み、多くの組合員・社員が疲弊しています。

私たちは自分たちを律しつつも、おかしいことには「おかしい」と声を上げることが必要です。責任追及では安全は守れません。JR東労組に結集し、安全風土を再確立しましょう！

「責任追及から原因究明へ」を掲げ、安全を創り上げよう！